

情報量が多い10代

全紙工SDGSに関する調査

【ピューロラ究】全日本紙製中業組合(黒田章裕理事長)は、2月7日午後2時から、東京・銀座の紙バルブ会館で「令和4年度中業組合生活路開拓事業」成果普及講習会を開講した。

はじめに早水専務理事が「補助金事業として生活路開拓事業を実施し、委員会を協定してSDGSに関連した付加価値の高い紙製品開発について調査」について説明。

消費者調査では、SDGSの言葉の認知は71%、取り組む必要があるのは51%であった。大きな特長として、男女共通で10代がもっともSDGSについて情報量が多く、学校での授業などによるものと推定される。消費者の25%は価格が高くてSDGS商材を購入する意向がある。しかし、価格上昇許容率は、70%が10%アップまで、30%が5%しか許容しないなど、同価格帯での優位性が上がる。SDGS商材とそれ以外を店頭で見分ける方法は、商品紹介POPなどが24%、特設コーナー設置が6%などとなっている。また、紙製品の持続可能性に対しては、ムダな紙を利用しないようにするが43%、古紙のSDGS講習会



全紙工のSDGS講習会

紙リサイクルなど、資源活用を減らす42%という2点が重要な取り組みとしてあげられる。事業者調査では、小売業者がSDGSの必要性を認識するのは70%、その中でも30%がとて必要な取り組みと認識している。環境に配慮した商品に興味があるのは90%以上。SDGS商材の取り扱いがあるのは55%で、紙製品だけでなく、文具、リサイクルトナー、ペーパーレス複合機、海洋プラスチックベンなどがあがっている。30%は価格が高くて積極的に取り扱い、60%は従来品と価格が変わらなければ取り扱いたい。顧客から要望があれば取り扱おうという結果で、SDGS商材への関心の高さがうかがえる。

報告後、広石委員長は「このアンケート調査は応用が広がると思う。紙製品業界は縮小傾向にあり、一方でSDGSのような新しい需要がある。デジタル化によって紙製品の使用頻度は減っているが、環境問題により再生紙やバナナペーパーなどに関心が高まっている。例えば、このノートにはどんな素材が使われているのか、その背景を知りたい」と、知らない若い世代には新鮮な言葉や「バックグランド」「許してちゃん」「そんなバナナ」など、過去に流行した言葉を、シンブルなタッチながらラジアルなイラストとともに表現している。イラストはシンプルで線の色を用いて、普通の人々の少し風変わりなさまを描くイラストを得意とする、イラストレーターの二村大輔氏。発売アイテムは付箋とシール。付箋は3デザイン各20枚(計60枚)入、税込473円。シールはシートにイラストと死語が6種類ずつ描かれている。税込275円。

「オキブング」発売

ココヨ株式

会社(黒田英邦社長、大阪)は、フリーアドレスのオフィスや会議室、ワークスペースに適した定番文具をパッケージ化し、置くだけで共有文具コーナーが作れる「オキブング」を発売する。



フリーアドレスに最適な共有文具

フリーアドレスのオフィスや会議室、ワークスペースに適した定番文具をパッケージ化し、置くだけで共有文具コーナーが作れる「オキブング」を発売する。近年、働き方の多様化に伴い、フリーアドレスを採用するオフィスが増えているが、個人席がなくなることで、ワーカーからは「個人で文具を置く場所がない」「共用文具がない、あつても使いにくい」といった困りごとも聞かれるという。また、共用

「オキブング」は、約30名の両方を手掛けている知見を活かし、オフィスでの使用頻度が高く使いやすい定番文具をパッケージ化し、取り出しやすく戻しやすい専用トレーをセットにした「共用文具セット・オキブング」の提供を開始。「届いたものを箱から出して置くだけで、簡単に共有文具コーナーを作ることができる。」 バリエーションは、約30名50名用に1セット設置を想定した「基本セット」、個人が自席に運んでの使用や、ワークスペースへの設置を想定した「ミニセット」、会議室1つにミニセットの設置を想定した「ミーティングセット」がある。

「オキブング」は、「仕事文具」と「死語文具」を合わせたワードの商品名にし、その響きや面白さを感じる人が多いことがわかった。こうした世情を背景に、職場などの世代間ギャップを楽しみながら、気軽にやり取りのきっかけになるコミュニケーション文具「しごとぶんぐ」を商品化したもの。

「オキブング」は、「仕事文具」と「死語文具」を合わせたワードの商品名にし、その響きや面白さを感じる人が多いことがわかった。こうした世情を背景に、職場などの世代間ギャップを楽しみながら、気軽にやり取りのきっかけになるコミュニケーション文具「しごとぶんぐ」を商品化したもの。世代には新鮮な言葉や「バックグランド」「許してちゃん」「そんなバナナ」など、過去に流行した言葉を、シンブルなタッチながらラジアルなイラストとともに表現している。イラストはシンプルで線の色を用いて、普通の人々の少し風変わりなさまを描くイラストを得意とする、イラストレーターの二村大輔氏。発売アイテムは付箋とシール。付箋は3デザイン各20枚(計60枚)入、税込473円。シールはシートにイラストと死語が6種類ずつ描かれている。税込275円。

京都で手帳の市を開催

3月25、26日

一般社団法人日本手帳クリエーター協会(宮崎じゅん、青木千草代表理事)は、京都では2回目のリアルイベント「手帳の市2023」を3月25、26日に京都・岡崎のみやこめてで開催する。

健康経営を提案するフェア開催

03 栃木県・マツヤ

株式会社マツヤ(猪野隆吉社長、栃木県鹿沼市)は、3月18日(土)、宇都宮市の福田屋百貨店インターパーク店2階大会場、OFFICE PORTAL(オフィスポータル)働き方デザインフェアを開催する。

ニッケン文具株式会社

本社 〒577-0013 東大阪市長田中4丁目5番44号
TEL(06)6747-7711・FAX(06)6747-5557

代表取締役会長 徳弘 滋 代表取締役社長 徳弘 恭子

第一支店・第二支店・中央支店・関西支店
第七支店・なみはや支店・SRD事業部
東京支店・関東支店・東支店・名古屋支店
四国支店・九州支店・札幌支店
グループ会社 株式会社 エヌケイ深井

2023年4月に発売1周年を迎えます

墨運堂 検索



株式会社 墨運堂 〒630-8043 奈良市六条1-5-35 TEL: 0742-52-0310 FAX: 0742-45-6880



PELTO

ベルト

やわらかなペルトーンのPPホルダー<PELTO>に新サイズが2種類仲間入り!フタとホックが付いているので、中身が抜け落ちにくく持ち歩きに便利です。

●A4三つ折りサイズ:縦115×横230mm/税込¥330(税抜¥300) ●ポストカードサイズ:縦130×横170mm/税込¥286(税抜¥260)
●本体材質:再生PPシート製(0.35mm厚) ●ホック1個 ●全5色(ペールピンク、ペールブルー、ラベンダー、ミントグリーン、ペールイエロー)

株式会社 ライオン事務器 https://www.lion-jimuki.co.jp/ お客相談室 TEL 0120-074416 FAX 0120-402539